

授業科目名	なぎなた		授業形態	実技	授業科目区分	専門科目 (関連実技科目)		
担当教員名	平山 悦子・下川 美佳				補助担当者名			
単位数	1 単位	履修年次	2		受け入れ人数	20		
授業の概要	本科目は、なぎなたに関する基礎的な実技力を身につける科目である。 日本の伝統文化としての特性を理解させ、正しい基本動作や応用技能を学ぶことを目的とする。具体的には、バランスのとれた体とよい姿勢、旺盛な気力と活力、礼儀を重んじ相手を尊ぶ心が養われることが期待される。							
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法				
	D Pで 目指す 資質・ 能力	実技力、実技指導力 (実技力、実技指導力)	授業期間				定期 試験	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表		
	認知的領域	・なぎなたにふれ歴史、特徴、練習方法を理解できる。 ・伝統的な考え方と行動の仕方を理解できる。						20
情意的領域	・礼儀作法を学び相手を尊重し技を教え合い互いに協力できるようになる。 ・健康・安全に気を配ることができるようになる。						30	
技能的領域	・基本動作を正しく学び、気剣体の一致した打突ができるようになる。						50	
成績評価の基準	授業態度、実技および筆記試験などを判断・評価し、60点以上を合格とする。							
テキスト、教材 参考書	楽しいなぎなたの授業(財)全日本なぎなた連盟 初心者のためのなぎなた(関連実技科目テキスト)							
履修条件・ 関連科目		備考(教員メッセージ含む)		手ぬぐい(日本タオル)を準備すること。 学期末試験とは別に希望者には、昇段試験を実施する。				
オフィス・アワー	授業実施日の授業前後の時間帯(武道館) 下川:木曜日 15:00-16:00(研究棟5階 505教員研究室)							
授業計画								
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	下川 美佳	オリエンテーション(特性・歴史・計画) 礼法と用具の扱い方			なぎなたの特性と歴史や礼法に関する復習 テキストP1、P4、P5~P8、P22、P23 30分以上			
2	平山 悦子 下川 美佳	1.基本動作 (1)各種構えの説明 (2)なぎなたの振り方、足さばき			基本動作の予習 テキストP8~P12 20分以上			
3	下川 美佳	2.基本動作 (1)打突部位、操作法 (2)打突法 (3)受け方			基本動作の復習とまとめ テキストP8~P12 30分以上			
4	"	3.基本打突と応用技能 (1)打ち返し (2)しかけ技 (3)応じ方			基本打突と応用技能の予習 テキストP13~P19 20分以上			
5	平山 悦子 下川 美佳	(4)しかけ応じ技(1~3本目)			しかけ応じ技1~3本目の復習 テキストP13~P16 20分以上			
6	下川 美佳	"			しかけ応じ技1~3本目の復習と4~5本目の予習 テキストP13~P19 20分以上			
7	平山 悦子 下川 美佳	" (4~5本目)			しかけ応じ技4~5本目の復習 テキストP17~P19 20分以上			
8	下川 美佳	" (1~5本目、演技競技試合)			しかけ応じ技(1~5本目)のまとめ 20分以上 レポート(1~8回分)の作成 40分以上			
9	"	4.防具をつけての打突法と稽古 (1)防具のつけ方 (2)防具をつけての打突法 (3)稽古			打突部位の予習 テキストP20、P24 20分			
10	"	"			打突法と稽古の予習および復習 テキストP20、P21 20分以上			
11	"	"			防具をつけての打突法と稽古に関するまとめ テキストP20、P21 20分以上			
12	平山 悦子 下川 美佳	5.試合と審判 (1)なぎなたの審判について (2)試合競技 (3)演技競技			審判方法に関する予習 1時間以上			
13	下川 美佳	"			審判方法の復習 20分以上			
14	"	"			試合と審判に関するまとめ 20分以上 レポート(9~14回分)の作成 40分以上			
15	平山 悦子 下川 美佳	6.全日本の形			レポート(1~15回分に関わる)の作成 1時間以上			
16	"	学期末試験(実技による評価)						